

在ブダペスト

日本人会会報

平成8(1996)年

秋季号

ドナウ通信

NO. 29

目 次

商工会より	2
日本人会より	4
大使館からのお知らせ	5
青年海外協力隊	6
補習校便り	9
随 想	15
読 書	19
スポーツ	23
掲示板	28

商工会より

ご報告

ブダペスト商工会幹事

ニチメン／小川 諭

9月上旬以来、突然の冷え込み続きで、まるで11月中旬下旬の気候を感じさせる昨今で、私のように風邪をひいた方も多いのではと思いますが、皆様如何お過ごしですか。

本年4月より半年間当商工会の幹事を務めさせていただき、10月よりは次期幹事にバトンタッチ致します。この半年間会員皆様のご協力のお陰を持ちまして何とか責務を果たす事が出来、改めてこの場を借りて会員皆様にお礼を申し上げます。

この半年間を振り返りますと、日常面では昨年来の高インフレの影響を受けて、スーパー等での消費物資は一週単位ぐらいでの連続的値上がりとなり、中には値段改定が頻繁なる為、古い値

段その儘で新価格を表示しているような店もあり、目まぐるしい物価上昇を示しました。当国外交面ではこの春に27番目の国としてOECD加盟が承認され、国際社会への仲間入りを実現しました。経済面では昨年3月に政府が導入した緊縮経済政策パッケージにより各分野に大きな影響を及ぼし、当国民には過去に例が無いほど厳しい負担を背負わされたものの、結果としてこれ迄相当程度の効果を上げてきています。政治面では大物蔵相／工業商業相の交替がありました。商工会での会員移動としては、ブリジストン及びキヤノンが退会され、TDKが新規会員となりました。一方この半年間での商工会活動を概括して報告しますと、毎回の例会に加え、ハ・日経済クラブ主催の当国政府高官セミナーに参加、APVトップとのミーティング、ハンガリー生産性センターよりの専門家による講演、日本・東京商工会議所訪中欧経済ミッションとの懇談会等々各方面と会合を持ちました。また建国110

0年祭行事に関連して、当商工会よりも幾つかのイベントに協賛しました。この国に在住して仕事をする日本人として、この商工会活動を通じて僅かでもハンガリー／日系企業のお役に立てればの思いで、この期間務めさせて頂きました。

今回は、前回号に引き続き、当地に生産工場を持って事業展開されている会員企業二社をご紹介します。

会社紹介

古河電工

勝岡 宣夫

送電線の鉄塔を良く見ると、鉄塔と電線をつなぐために、ガラスや瀬戸物でできた「碍子」と呼ばれるパーツがあります。ハンガリーの一般家庭の電気の電圧は220Vですが送電線の一、番高い電圧は70万Vでそばに近寄った

だけ感電してしまいます。

碍子はこのような高い電圧でも、また、汚れたり雨に濡れたりしても電氣を通さない高い絶縁性と、電線を引き留めるために10トン以上の引っ張りに耐えなければなりません。

私達の会社はこの碍子をシリコンゴムとグラスファイバーで造る研究をし製造して販売する会社です。

会社は2つの兄弟会社になっていて1つは『F E T I』（Furukawa Electric Institute of Technology）という会社です。

従業員は各々約30名で、日本人は私の他に伊藤忠から来ている渡辺さんの2人です。

去年の4月に新しい建て屋が完成し、半分がF E T I、もう半分がF C Iで、1つのビルの中で研究開発から製品製造までを行っています。

F C Iの操業もこの時から本格化したので、まだ生まれて1年半の若い会社で、まだまだ会社として整えていかなければならないことがたくさんあり

ます。しかし、スタッフのほとんどは元研究者で、会社経営の経験がない人達なので、この辺が我々の悩みでありまた力を発揮しなければならないところ です。

製品はハンガリーの電力会社はもちろん、ポーランド、ルーマニア、日本等に輸出も行っており、最近ではドイツを初めとするヨーロッパからも有望な話が来るようになりました。

今の所、昇り調子、このまま売り上げを伸ばし、ハンガリーの優良会社にしようと頑張っています。

協和発酵

山崎 暢久

こんにちわ、協和発酵の山崎です。

九十二年の三月から当地に駐在を始め、ブダペストの協和発酵ハンガリー駐在員事務所に勤務しております。今回はこの紙面をお借りして、私どもの会社を紹介させていただきます。

協和発酵は、遺伝子組み換えやプロ

テインエンジニアリングなどバイオテクノロジーとケミカルエンジニアリングを駆使する総合バイオインダストリーです。そのルーツはひとつの研究所にさかのぼります。昭和十二年に設立された協和化学研究所。発酵法と合成法を用い、「砂糖から航空燃料をつくる」というアセトン・ブタノール発酵の実用化の実験をスタートしたのが始まり。以来、発酵技術を中心として医薬品、化学品、食品、酒類へと事業を拡大して参りましたが、医薬品は、お医者さんで扱う医療用医薬品のみですし、化学品といえば溶剤や可塑剤、洗剤用の高級アルコール。食品・酒類もこれまでは、酒精用アルコール、飲食店向けの調味料、冷凍食品が中心。このため「サントネージュワイン」、焼酎の「撫村」、「大五郎」、インスタント食品の「たまごスープ」、「たちまち おかゆ上手」といったところを除けば、協和発酵の製品が直接皆様の目に触れる機会は少ないものの、これまでも必ずや何らかのかたちで、お役

にたっているものと存じます。

当地で皆様のお仲間入りをさせていだいたのは、東欧の改革が起こる丁度1年前の八十八年から。前年に設立した合併会社「アグロファーム社」に駐在員を派遣したことに始まります。この会社は、鶏、豚用の配合飼料の原料となる非須アミノ酸のリジンを、代謝制御発酵法という技術によって生産する会社で、製造技術を協和発酵からライセンスしました。デブレツェン市郊外にある同社の工場には、現在も技術面のスーパバイザーとして平尾という者が、出向しております。

以上協和発酵を紹介させていただきましたが、今後とも駐在員・家族ともども宜しくお願い申し上げます。

日本人会より

「運動部行事を終えて」

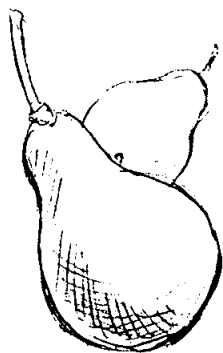
鹿目 俊郎

十月六日の第二回ソフトボール大会で、本年度の運動部行事は終了致しました。ここに皆様の多大な御協力に感謝申し上げますと共に責任者のひとりとして、所感を述べさせていただきますと存じます。

運動部長をお引き受けした際、私なりに運動会、ソフトボール大会を開催する意義が何であるかについて考えてみました。一言で言えば、日本人間の懇親に尽きると思います。普段仕事に追われ、家事に追われ、勉強に追われている家族の各メンバーが一同に集う。そして全てを一時忘れ、走り、打ち、投げ、応援する。そこにチームとして、家族として一体感が生まれる。それが貴重なひと時なのだと思います。勝敗を伴う競争のため負けた悔しさや、勝ったうれしさは人それぞれですが、大会の成功を目指して、気持ち

を寄せ合い、舞台裏の設定に余念のない分科会の方々の思いが、日本人会の和を作り大会を成功に導く鍵となるのだと感じました。

今年の運動会はハンガリー建国千百年に因み、祝賀と友好の意を込め、地元で日本語を学ぶ十二名の小中学生を招き開催されました。昼食中に雨に見舞われ、体育館に移って続行されましたが、御参加いただいた方々の御助力でスムーズにプログラムがこなされました。児童の皆さんが金銀銅のメダルを首に下げ誇らしげに歩いている姿が印象的でした。第一回ソフトボール大会は、大使館・一般チームが波に乗りスズキAチームを下して優勝しました。第二回ソフトボール大会は、スズキAチームと商工会Bチームの接戦となり、両チーム共毎回得点を重ねた末、最終回の逆転劇によりスズキAチームが優勝しました。年に二回しか使われないグロープの固さにもかかわらず、熱意から発せられるボール捌きとボールをじっと見据える打撃フォーム



は、一途で奇麗に映りました。

ハンガリー建国千百年の今年、運動部長を努める機会に恵まれ、幸運でした。近々開かれる反省会を持ちまして、次の運動部長へバトンタッチいたします。今後とも行事を盛り上げるため、微力ながらお手伝いする所存であります。

大使館からのお知らせ

(文化行事)

「平野弥生マイム公演」

シアター・ムーヴメント「ウズメ」

10月17日(木)、18日(金)

午後8時より

於:MUSEUM SZINHAZ

(11区 Károly József út 17.)

本人自作の能面の技法で作成した3つの面を用い、日本神話に登場する「ア

マノウズメ」をモチーフに、人々の閉ざされた心を開き癒すため豊かで普遍的な「笑い」と「生」の賛歌を追及する「ウズメ」をマイムにより表現していく。

国際交流基金助成事業

チケットは同劇場で入手できます。

値段:500フォリント

「日本文化祭 96」

10月26日(土) 10時~18時

27日(日) 10時~17時

於:POSSÁR KIRKORÓ

NHK文化センター主催により、日本から約500名の人々が参加して、日本の伝統文化を中心とした展示、舞台公演を行います。

展示:皮工芸、木目人形、和紙人形、扇面、羽子板、盆石、水墨画、書道、水引、組ひも 等

舞台公演:茶道、生け花、箏曲、能、和装、地唄舞、琴、大正琴、折り紙、コーラス等

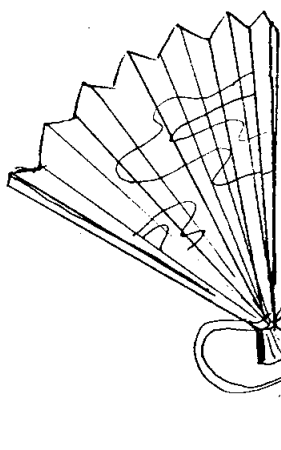
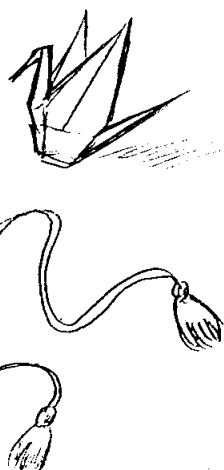
入場無料

「第4回日本語スピーチコンテスト」

11月9日(土) 午後1時~4時

於:大使館多目的ホール

大使館、国際交流基金、青年海外協力隊の共催により、日本語を学習しているハンガリーの高校生、大学生を対象としたスピーチ・コンテストを開催いたします。ハンガリーの若者達が日頃の勉強の成果を披露すると共に、日本語を勉強しているハンガリーの小学生によるアトラクション等も行う予定です。皆様のご来場・ご声援をお待ちしております。(参加記念品の抽選会もあります)。



青年海外協力隊

ボチボチやってますけど、

夢はオリンピック！

「ハンガリー野球事情」

野球隊員

山田 幸一

ハンガリーの地方各地で野球指導をしている山田幸一と申します。へえ、ハンガリーでも野球をやっているのかとおっしゃる皆さんに、マジャール・ベースボールについて少し紹介したいと思います。

現在、成年チームが25チーム、少年チームが4チーム、女子ソフトボールチームが6チームあり、16の市町村で盛んにプレーされています。野球人口は約800名と少ないのですが、ハンガリー野球連盟が発足してまだ5年である事を考えると、なかなか順調に普及しているのではないかと思います。

私はハンガリーに来て約3年になりますが、その間に9つの町で野球指導をしてきました。地方チームにとっては指導者不足が深刻な問題で、野球に対する取り組み方も趣味の域を越えられないといった状況です。そこをなんとかして動機づけするために、特にメンタルな部分に働きかけて競技スポーツとして確立していくことが私の仕事です。また地方にも金の卵が必ずいるわけですから、そういった選手を捜し当て育てることも大切です。

さて、ハンガリーの野球のレベルがどのぐらいかと申しますと、表現が難しいのですが、ナショナルチームなら日本の高校野球地方予選大阪大会の3回戦ぐらいまではいけると思います。何となくおわかりいただけるでしょうか。目標は勿論オリンピックです。

現在私が指導しているチームはブダペストから西へ約200kmのところにあるNAGYKANIZSA（ナジカニジャ）市にあります。このチームは

成年チーム2チームと女子ソフトボールチームをもっていて、地方ながらもハンガリーで最も確立されたクラブチームです。学校や市が全面的にバックアップしているので、選手達は野球用具にかかる費用や遠征費を一切負担する必要がありません。他のチームに比べると恵まれすぎる環境にあります。クラブチームとしては理想的というかこうあるべきだと考えます。こういった環境のもとで、NAGYKANIZSA BASEBALL CLUBは昨年国内2位、NAGYKANIZSA市の最優秀クラブチームに選ばれました。また、今年度のハンガリーカップを制したのです。このチームに限らず、私が指導した選手達がナショナルチームの選手として活躍し、オリンピックへ一歩一歩近づいていくてくれれば、それは私にとっても最大の喜びです。10年、20年後がとても楽しみです。私は今年の12月で3年間の任期を終了し、日本へ帰国しますが、その後もな

こだわりの旅

んらかの形でハンガリー野球を応援しています。

私以外にも何人かの外国人がハンガリー野球を支援しています。アメリカ人やキューバ人、本田技研に野球留学をしたことのある中国人などです。彼らと会話するときは、ハンガリー語が共通語になっているのが面白いです。日本人では旅行ガイドの高橋克間さんと日本人補習校の仲川寿一さんがそれぞれ選手として活躍しています。皆さんの中で野球に自信のある方、連絡お待ちしています。

YAMADA KOICHI

8800 NAGYKANIZSA

LISZT FERENC 2/D II.

TEL/FAX 06-93-317-494

日本語教師

後藤 史与

ハンガリーに来て、早二年の月日が過ぎてしまいました。協力隊の任期は原則として二年間ですが、私は一年間の任期延長の許可を得て更にもう一年この地に残ることにしました。一年の任期延長者は三十日間以内の一時帰国が許可され、この夏二年ぶりに故里に帰り、山ほどの魚介類を前にして友と再会の時を過ごしました。日本ではこの国の情報が少ない為か、友人達からたくさんの質問があったものの、自分が教鞭をとる大学の事、僅かばかり首都の事、友人が住む二、三の地方都市の事しか答えられませんでした。優しい友人達は、きっと仕事が忙しいからそんなに観光旅行など出来ずにいるのだろうと受け取ったかもしれません。しかし現実には仕事に追われることなくその内その内と考えてただ二年の月日が去って行ったのです。

エネルギーを十分に補給して任地に
戻ってから、同僚と話をすることが出
来ました。彼女も協力隊員で、数か月
後には任期を終えて帰国します。従っ
て九月に仕事が始まるまで当地での最
後の休暇を大いに楽しんでいた最中で
した。彼女は温泉好きで、『六百以上
もあるすべての温泉めぐりは無理でも
それなりに名の通っている温泉地は是
非踏破したい』と、今日は東明日は西
とバワフルに動き回っています。また
ある人はハンガリー各県の県庁所在地
を全て訪れたいとのこだわりを持って
週末旅行を楽しんでいます。すでに帰
国したある隊員は全ての国境の町を訪
れたと聞いています。何かにこだわり
を持って行動をする事は方向を決める
時に容易となります。さて、私はこの
残された一年間に何にこだわりを持と
うか。自分が興味を覚えるもの、それ
をこだわりに出来たらこれから実行し
ようとしている週末旅行が楽しいもの
となるに違いありません。

自分が楽しめるこだわり探しをしてい
たおり、温泉めぐり隊員よりラーツケ
ヴェへの日帰り旅行に誘われました。
その町がどこにあるのか、何が見学出
来るのかも知らずに「行く！行く！」
と返事をしました。旅行ガイド本には
サボイ城とセルビア正教会が見どころ
と出ています。まずは何のこだわりも
持たずに旅の第一歩を踏み出そう！そ
うと決めて、わが故里とほぼ同じ面積
のこの国の地図を前に旅行ガイド本を
読み進めていたところ、これから行こ
うとしているサボイ城がこの国の切手
の一つになっている事を知りました。
『これだ！』切手で紹介されている城
を訪ねる旅をしよう。そして自分だけ
のこだわりの旅アルバムに切手を添え
よう。

旅は始まったばかりです。来年帰国
の日に自己満足できればいいなと思っ
ています。

補習校便り

比較的涼しかった夏も終わりを告げ「老婆の夏」は何処へやら、早くも肌寒い季節を迎えています。補習校では授業の合間の休み時間に、校庭で遊ぶのを楽しみにしている子が多いのですが、日が短くなるのにつれて外で遊ぶ楽しみがなくなってしまうのが少し寂しく感じられます。補習校の校庭には胡桃や梨など色々な木が実をつけており、モリツ高校のご厚意で子供たちが自由にとってもいいという許可をいただいております。日本では見たことのない胡桃を見て最初は「これ何。」「食べられるの。」と質問してくる子が夢中になってとり、中には抱えきれないほど持ち帰る子もいます。日本では都会育ちの多い補習校の子供達ですが、まだまだ自然が豊富なハンガリーで貴重な体験をしています。

二学期最初の特別活動として9月7

日に日本人会と共催で運動会を行いました。昨年までは夏の集中授業期間中

に行っていたのが、本年度はハンガリー1の小学校の児童生徒を迎え、二学期にするといい初めての試みとなりました。練習時間が余り取れなかったものの、本番では例年以上に張り切る子供達の姿が見られました。ハンガリーの子供たちにとっては障害物競争、借り物競争、百足競争など初めての競技がほとんどのようでしたが、前の子たちがするのを見ながら必至でコツをつかみ、補習校の子供たちに勝って一等賞になる子もたくさんいました。子供達の最大の関心事はやはりメダルをいくつ取るかという事でしたが、自分の色のチームやお父さん、お母さんの応援にとっても力が入っている様子でした。あいにく途中で天気が崩れ午後からの競技は体育館で行われましたが、それもいい思い出となったようで、早くも来年こそは絶対に優勝するぞと張り切っている子もいます。関係者の方々に

はたいへんお世話になり有難うございました。

現在は11月に控えた学習発表会に向けてそろそろ準備に入っている学年もあります。「今年は何をやるうか。」「去年は劇をやったから、何か他のをやるう。」「でもやっぱり劇がいいや。」などと言う会話が各学年で交わされています。一学年平均4〜5人しかいない補習校です。何をするにしても少ない人数で工夫しなければなりません。中には隣の学年に合同でやろうと申し込むところもあり、いいアイデアを持ってくるならやってあげてほしいなどと学年同志の取り引きも見られます。授業の合間を縫っての準備、練習は大変ですが、試行錯誤しながら協力して一つのものを作り上げ、成功したときの喜びはきっと忘れられない思い出となるでしょう。限られた練習時間を有効に使い、実り多い学習発表会になることを期待しています。

うんどうかい（一年生）

かとう しんり

十ようびに、うんどうかいにいつて金ぎんどうめだるを、とりました。そしてむかできょうそうでまけました。そしてににんさんきやくをしました。そしてしょうがいぶつきょうそうをしました。ぎんめだるをもらいました。そしてたまいをやったりして、それにつなひきをやりました。そしてあおぐみになりました。そしてかりものきょうそうをやりました。そしておべんとうをたべたりしてじゅうすをのんだりあそんだりして、そしてもうすぐかえるじかんになってさいごにくれよんをもらってからかえりました。そとはあめがふっていたのでいそいでかえりました。そしてぼくはくるまのなかでぶるぶるふるえていたのです。そしてかえったらすぐにびでおをみました。びでおをみたあとにはおふろにはいり

ました。そのつぎは、はみがきをしてからおふとんのなかにはいってねました。

まるなか けんじ

土よう日に、うんどうかいがありました。金メダルが、なくて、ぎんメダルが、どうメダルだったら金ぎんどう一こぶつ三こそろつてたのに金ぎん金ぎんになったのがざんねんでした。スプリンレースでまけたのがくやしかったです。むかできょうそうでどうメダルをとれなかったのが、ざんねんでした。しょうがいぶつきょうそうで一とうだったのがうれしかったです。ににんさんきやくで、メダルが、なかったのがざんねんでした。あめだったからフォークダンスができなかったのがざんねんでした。

ふじさわ じろう

うんどうかいでスプリンレースがたのしかったです。むかできょうそうで金メダルをもらいました。きいろぐみだったです。それで一とうになりました。たまいれもたのしかったです。かりものきょうそうをしました。かえりにぶれぜんとをもらいました。しょうがいぶつきょうそうでどうメダルをもらいました。おべんとうでころっけがおいしかったです。

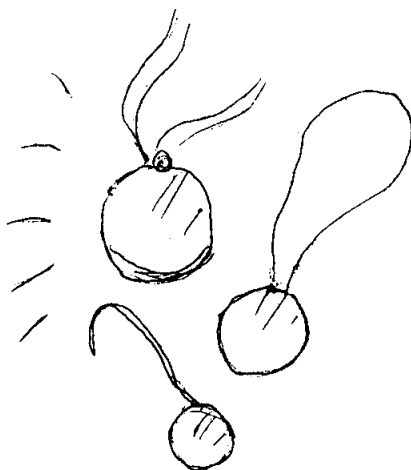
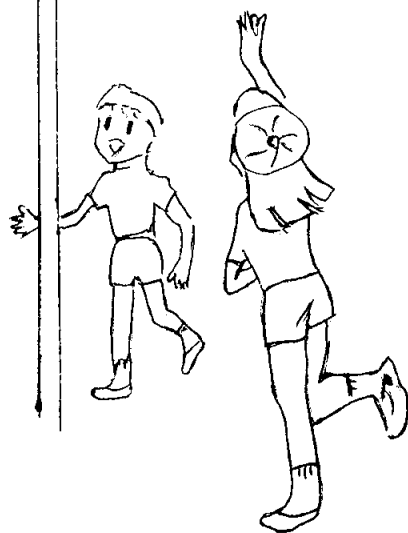
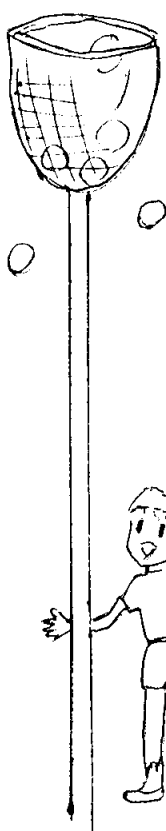
ひらお あきえ

どようび、うんどうかいに、いきました。つなひきとたまいれとににんさんきやくとパンくいきょうそうとむかできょうそうとかりものきょうそうとスプリンレースとしょうがいぶつきょうそうをしました。おもしろかったです。ゆうちゃんといっしょにおべんとうをたべました。おいしかったです。あかいはちまきをしました。ゆうちゃんといっしょにあそびました。あめが

ふったから、たいいくかんでやりました。

むらの ゆう

どうぶ、うんどうかいにいきました。パンくいきょうそうをしました。ぎんめだるを三こもらいました。にんさんきやくをしんりくんといっしょにしました。スプーンレースもしました。なかでむかできょうそうとかりものきょうそうもやりました。おそとでしょうがいぶつきょうそうをしました。ゆうはしろぐみでした。なかがわせんせいのおとはゆうのままでした。さいごにぶれげんととかじゅうすをもらいました。あきえちゃんとたべました。



スイミーへの手紙(二年生)

たんげ まりえ

スイミーくん、げんきですか。わたしはげんきです。わたしはスイミーくんのえほんをよんでまぐろにたべられているのを見てかわいそうだなとおもいました。こんどハンガリーのかわにきてね。こんどにほんにいったときにうみにあいにくからね。わたしのおばあちゃんはいえにスイミーみたいなさかながいるよ。じゃあねバイバイ。

たなか かおり

スイミーおげんきですか？私は、元気です。スイミー海の本とうのまぐろはどれくらい大きいの？スイミーってお父さんとお母さんっているの？おしえてください。

ひらお ななえ

スイミーくんおげんきですか？わたしは、げんきです。さかなってたまご

うむんですか？ともだちたくさんできましたか。さかなっておかあさんいるの？おしえてください。おてがみもく
ださいね。

まとは れい

スイミー元気ですか。わたしもほしゅうこのみんなも元気です。スイミーってとても頭がいいのね。わたしみなおしちゃった。スイミーは父上母上いるの。わたしは、友だちも的場父も的場母もいともおじいちゃんもおばあちゃんもおとうともいます。じゃバイバイ。伶より

はしもと なおひさ

スイミーくん、げんきですか。スイミーはおとうさんなのかこどもなのかわかりません？ぼくはげんきです。スイミーくんおてがみください。さかなは、どうしてできたの？はしもとなおひさより

さーらい あれん

スイミーくんはおしっこしてる。それをききたいんだよ。

(読書感想)

石うすの歌を読んで(六年生)

中西 あずさ

私は石うすの歌を読んで瑞枝はともかわいそうな子だと思います。なぜかというと自分のお父さん、お母さんがせんそう中、死んでしまっただけもかたちもなくなってしまったのに、瑞枝はなみだぐんだだけですがまんしたのととてもえらいと思います。この本を読むととても残酷な話だと思うけど、こういうことが本当にあったと思うととてもこわいです。だからこれからこういう同じ事をくりかえしたくないです。

可児 規子

私は、最初に石うすの歌をよんで、石うすの歌ってなんだろうと思います。でも、教科書をよんで、しだいに作者が何を言おうとしていることがすしだけわかったような気がします。でも、広島の人たちのいたみにくらべたら、ぜんぜんわかっていないと思いますけど、平和という言葉があるから、そのほんたいがあるんだと思います。そして、広島におちたげんばくで、何人もの人たちが死んで、新しく生まれかわっている人だと思います。平和はしっけていてもそのほんたいの言葉をしっていますか？たぶんそのような言葉がないからだと思います。人間はたぶん“平和”がなかったら、生きていけないと思います。

広島の人たちのためにも平和な世界をめざしていきたいですね。

随 想

ブダペストの思い出―音楽―

唐澤 志津江

ドナウ通信が届くたび、皆さんの随想を読ませていただくのをとても楽しみにしている一人です。話すのも書くのも苦手な私としては、このまま読者でいられることを密かに願っていました。しかし私もいつのまにかもう滞在二年半、とうとう出番が回ってきてしまいました。二年半といえはかなり先輩格のほうですが、いまだに皆さんのお世話になってばかりです。この場をお借りしてお礼を述べさせていただきますと存じます。

群馬県の田舎からやってきた私たちにとって、ブダペストは便利で生活しやすいところという印象でした。この小さな国がヨーロッパのまっただ中であ

って、幾多の困難にもめげず独自の言葉や文化を守り抜いてきたという歴史をここに來て初めて知り、民族の結束の固さ、人々の自国に対する誇りと自信に頭が下がる思いがしました。文化施設が充実しているのにも驚きました。人々は氣負うことなく音楽やスポーツを楽しみ、自然や動物との触れ合いを大切にしているようです。特に「音楽の都」とも言われるこうした環境のおかげで、出不精な私たちでさえ音楽会やバレエには子供連れで何度かでかけることができました。「コッペリア」、「眠りの森の美女」…、今では音楽を聴くとあの優雅な舞台が目には浮かびます。娘はピアノを通じてバルトークの名前を知りました。五才の息子のわがままにかこつけて、マイケル・ジャクソンのコンサートにも足を運びました。ブダペストで出会ったたくさん

の音楽、日本に帰ってから家族で楽しみたいと思っています。

では最後になりましたが、高橋美智子さん指導のコーラスグループの紹介をさせていただきます。名称も代表者も定まっていな、総勢十三名の歌の好きな女性の集まりです。私が二年前に初めて参加した当時、適当な会場がないということで、たまたま我が家を利用していただくことになりました。「悪魔の辞典」曰く、「コーラスとは弱い声の集まり」とおり、大半は「ソロで歌うのはちょっと。」という奥ゆかしい女性たちです。レパートリーは日本の歌、ハンガリーの歌、その他名曲の数々（いづれも小品）。みんなで楽しく集い、美しいハーモニーを響かせています。最近では先生のご好意で音楽史も織りまぜて教えていただいております。

興味のある方、お仲間になりませんか。

毎週月曜 午後一時半～三時

（変更があるかもしれませんのでお問い合わせください。）

唐澤宅（TEL…32518721）

ミラノあれこれ

田中 和子

聞きしに勝るとはこのことでしょうか。夏休みに入る前の七月も終わる頃ミラノに買い物旅行に出掛けました。有名ブランド店が軒を連ねるモンテ・ナポレオーネ通りの店のどこもこも日本人がいっぱいです。喧噪と焦りを店内の空気の中に感じながら、それでもだれもが「あなたとは違う」という思いを、精一杯の余裕と借り物の上品さを肩先に見せながら、日本人同志を意識しあっている様がおかしいのです。

とは言っても、私達も同じ穴の貉。二泊三日の買い物旅行に、何も買わずに帰るわけにはいきません。たったひとつのハンドバッグをかう為に、心の中で『よし、買うぞ』と握りこぶしで気合を入れます。そんな自分に「まあまあ」と言っただけになる程、若い人達の購買力には驚かされました。先の新聞に「日本が唯一ファッションに

金をかける国であり、イタリアのマーケティングのうまさ日本人が支持した」との、フランスのゴルチェの言葉がありましたけれど、モンテ・ネポレオーネ通りの喧噪はそれを裏付けるかのようでした。ブランド店の名人りの紙袋を下げながら歩く街は、ミラノ人の視線がまるで軽薄者のそれを見るように感じられて、恥ずかしいものでした。そして又、ミラノ在住の邦人に同情心もわきましたけれど、それは大きなお世話というものでしょうか。

霧雨の降る翌日は、サンタ・マリア・デッレ・グラツィエ教会へ出掛けました。レオナルド・ダ・ヴィンチの「最後の晩餐」が爆撃を免れて、その食堂に残っています。これまでも何度か他の作者のを見ましたけれど、ここに来て、やっと会えたという思いでした。教科書で見た絵が、その遠近法の技法の故にはっきりと記憶に残っています。

夕方の食卓という、窓の向こうの山並み、セピア色の室内。「あなたがた

のうち、一人が私を裏切る」というキリストの言葉に、驚き、戸惑い、悲しみに目を伏せる弟子達のなかで一人、身を乗り出すユダ。十三人目の招待客として、ダ・ヴィンチがその席に居合わせたのではないかと思える程です。決して広くはない食堂で絵を見ながら、少しづつ後退りをしていくと、丁度部屋の2/3くらいの所で、遠近法によってでしょうか、ふっとその絵が大きく見えてきます。次に手で双眼鏡を作って、見ます。一人一人の表情が一層はっきり見えてきて、なかなかその場を立ち去ることができません。世界の有名な絵画が各国に貸し出されて居ながらにして絵を楽しむことができるのは有り難いことです。それと同時に、自分が出向いていかなければ見られない絵というものもなかなか良いものです。その絵の前に立ち、見せて頂きますと言う思いになれますから。

もう一度見たいという願いが、思いがけず十月にかないます。夏休みも終り、時代を逆戻りするかのような

修復作業も一緒に見る事ができるか

も知れません。大きな絵の前で気の遠くなるような作業の様子は、この世の価値観を空しくさせるかのようで、しばしの安らぎを覚えます。この絵はフレスコ画でなかったばかりに、七月の時には壁の中に絵が吸い込まれてしまふのではないかと思うほどに、はかばか気な色でした。グラツィエ教会も観光客で賑わっていますけれど、絵を前にして自分だけの空間を持つことができます。

初秋のミラノは、冬のバーゲン・セールの前の静けさの中にあるでしょうか。それとも…。



ソボール公園

竹村 朋子

その場所の横を通りながら、いつも独特な雰囲気不思議に感じていたのです。初めて通った時「ここはなに？」と主人に尋ねると、「ある時代の銅像をここに集めてあるそうだ」とのこと。

それは市の中心部から車で約20分のところ、国道70号線(Balatoni út) サバドカイ(Szabadkai)通りにあるソボール(像)公園です。

休日のドライブでその後も幾度か通り過ぎながら、何となく心に残るものがあったので、先日マルトンバシャーのベートーベンゆかりの宮殿を訪れた帰りに立ち寄りました。車の中から眺めているときは単に銅像が放置されているだけと思っていたのですが、入場料を払って見るソボール(Szobor)ミュージアムとなっているので驚きました。それはまさにある時代の輝かし

き銅像達の隠遁の場所だったのです。

チケット売り場のおばさんの「英語のガイドのパンフレットがあるわよ」との声に「いえ、けっこうです」と答えて中に入ったものの、各像の由来を知りたく、引き返してそのパンフレットを求めました。

その公園にはかつていろいろな場所に堂々と立っていた41体の銅像が時代の変化とともに、今ここにひっそりと集められていたのです。

ゲッレールトの丘に東を向いてヤシの葉を両手で高く掲げている女性像があります。今では自由の精神を象徴する像として愛されているあの女性像も近年の時の流れに翻弄されて現在に至ったようです。

あの女性像の足元には、右手に大旗を支えスクと立つソビエト兵士の像がありました。彼女自身の処遇をめぐる議論沸騰の中で「女性に罪はない」、「ヤシの葉は自由の象徴である」という意見が認められ今日の彼女があ

ることになったとのことですが、かつては彼女を守るように共にあった兵士は、この公園にさびしく立っていました。

大天使ガブリエルが千年記念碑の頂上に立ち、14人の古の英雄達が、今はのどかに観光客を見守っている英雄広場。その近くの大通りにあった高さ4 mのレーニン像も公園で見つけました。こうして見ていると、今まで見慣れたゲッレールトの丘や英雄広場の光景が全く異なったものに見え愕然としました。

知識としてはこの国の体制が変わり政治的にも経済的にも新しい方向に向かって頑張っていることはわかっていました。しかし、オペラハウスやリスト音楽院に代表される文化面の豊かさや、くすんではいるものの建物の荘重さ、お年寄りをいたわる人々の優しさを見るにつけ、つついっ忘れていたことがあるようです。

我が家の大家さんの明るく陽気なペー

ター夫妻、一階に住み、バーベキューやコーヒーに招いてくれるビクトル夫妻、一人暮らしながら私達の外国生活に気を配ってくれるお隣りのマリアさんなど、彼等の今までの人生がどんなであったかを改めて考えてしまいました。

公園の管理人の話によると1993年のオープン以来、今でも常に見学者がありハンガリー人と外国人の比率は半々との事です。

この公園を訪れる人々はどうのような思いでかつての英雄達の像を眺めるのでしょうか。この国が近年歩んだ道を再び辿ってはならないとの思いで過去の証しとして眺めるのでしょうか。それとも変化の激しい現在と比べて平穏と平等のあった過去の部分を懐かしむ思いで眺めるのでしょうか。

あちこちで眺めている人々からはその胸の思いを測ることは出来ませんでした。しかし、そこに存在するかつての英雄を称えてきた歴史はまぎれもな

い事実です。

また、それらの像を芸術作品として見た場合その時代の芸術家が満身の力を込めて作った作品であるに違いありません。

これらの事実を表現する像を過去のものとして捨て去るのではなく、ささやかな隠遁の場を与えることはとてもバランス感覚にあふれた処置であるように私には思えました。これはハンガリー人の人々の生き方と考え方の一面をあらわしているのでしょうか。

多くの人が様々な思いで暮らしてきたこの国では心して生活せねばならないと痛感しました。



オペラと私

小俣 恵子

読書の秋、芸術の秋、そして食欲の秋。

皆様、ブダペストの秋をいかがおすごしですか？ ブダペストに来て早三年。お友達にも恵まれ、毎日を楽しく過ごしております。

芸術の秋といえば、今年もオペラのシーズンがやって来ました。お友達から「オペラおたく」と呼ばれるほど、オペラ好きの私にとっては、とても楽しいシーズンの到来です。今日は、そのオペラのことでお話をさせていただきます。

私がオペラを見るようになったきっかけは三年前、親しい奥様から誘われたことでした。正直な話、その時は気乗り薄でした。というのもその頃の私は、オペラについて食わず嫌いというか、悪い印象しかなかったからです。

小学校四年の時、授業中に担任の先

生が、偶然テレビで放送していた、「蝶々夫人」を私たちに見せました。そしてオペラ歌手の人たちは、マイク無しで広いステージから観客席のすみずみまで聞こえるように歌うから素晴らしい。歌謡曲など、あんなものは騒々しいだけで音楽ではない、とおっしゃいました。でもその当時の私には、蝶々夫人のすばらしいソプラノも単なる「黄色い声」にしか聞こえず、体中に悪寒が走ったのを今でも覚えてます。以来、教科書などで蝶々夫人やカルメンなどのさし絵を見ただけでも鳥肌が立つという有様で、このブダペストで初めての生のオペラを見るまでは、拒絶反応あるのみでした。

そんなわけで、せっかくのお誘いにも最初はためらうばかり。先程の体験談を彼女に披露したところ、とにかく一度だけトライしてみてはと勧められ、「では一回だけよ。」と念を押して、初めて見たのが、ヴェルディの「アイーダ」でした。



読 書

「これでいいのか 世界史教科書」

カッパサイエンス 謝世輝 著

小沢 正明

われわれ商社マンが海外赴任して、まずしなければならない必要条件の一つとして、赴任国の歴史、文化、慣習を学ぶことがあります。

わたしも2年余り前に着任した時、まず歴史書、観光案内など多数買い込みました。ハンガリーの歴史の中で、最も興味を持った話題は「マジャール人はどこから来たか？」という事でした。

今年がマジャール人定着1100年という事もあり、昨年このトピックが新聞・雑誌を賑わしました。共産主義時代のソ連の（共産圏一体化のための）押付けによる西ウラル起源説を、も

う一度見直そうという動きが出て、西モンゴル説や北チベット説などが唱えられ、実証のための考古学者の派遣が行われています。

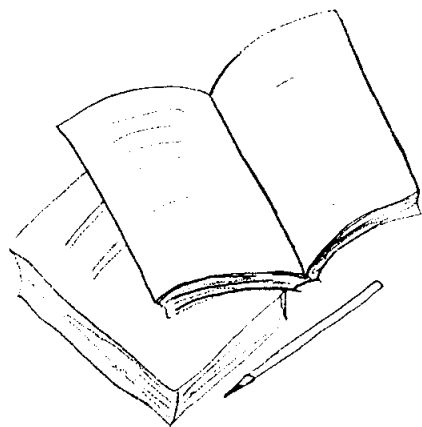
先日、TBSブロードキャスターの寫信彦氏ご夫妻が来洪、懇談する機会がありました。その折、このトピックが出ましたところ、寫氏より最近面白い本を読んだと言うことで、この本の紹介があり、帰日と同時に送って頂きました。

著者は台湾生まれ、台湾大学卒業後名大大学院で理学博士となり、科学技術史を研究しているうちに、世界史に転向した変わり種で、現在は東海大学教授です。

著者は科学者の目で世界史を見直した結果、現在の（日本で教育されている）世界史は全く白色人種中心、従ってヨーロッパ中心に作られ、ヨーロッパを過大評価し過ぎていると指摘しています。

特に、中近東（これもヨーロッパからの距離で世界の地理区分を決めている）のイスラムや西アジアの騎馬民族こそ主役であった中世史の歪曲が著しいと言われます。

いわゆる「物事の正統性」と言うものが、それを初めに体系化したり、その後一時強大な権力を持った人や民族の恣意的美化や、歪曲によりいかに作られるものであるかと言う事を改めて問う興味深い本と言えます。また、ある事柄をすぐ鵜呑みにせず、色々な角度から確かめてみると言う科学的アプローチの養成にも適した本でしょう。是非一読をおすすめします。



『トイ・ソルジャー』

四手井 旺子

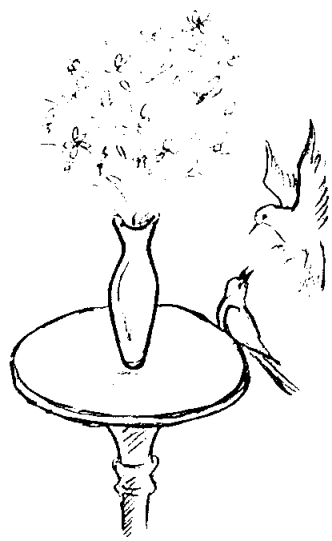
掌に乗ってしまう小さな本達は束の間、キビシイ現実の世界から自由自在な別世界へと誘い出してくれる大好きな友達です。ですから私にとって、本は教養的なものよりも、エキサイティングなもの、余り日常的でないもの、ほうが楽しくて好きです。ワクワク、ドキドキ、ヒヤヒヤ（少しお手柔らかに）、クスクス、そしてジーンとくる愛の物語が入っていれば、お楽しみ味の付けはみんな揃いました。これまで平成クラブへ沢山の方々から本を譲って頂き感謝して居りますが、とりわけ私好みの本がダンボール箱に一杯届いた時のリッチな気分、お分かり下さるでしょう。そして同好の友を知る喜びを密かに味わっているのです。アガサ・クリステイ、アーサー・ヘイリー、

シドニー・シェルダン、トム・克蘭シー、ミ、つい手が出てしまします。全くの乱読ですが、最近何気なく読み始めて目が放せなくなったものの一つに、ウィリアム・P・ケネディ著『トイ・ソルジャー』があります。所はイタリーの片田舎、曰くのある古い僧院に響く明るい子供達の声。今はアメリカの名門の子弟達を預かる寄宿学校。大物政治家、大財閥、マフィアのドンの息子達です。つまり親の手に負えない腕白小僧が集まったといえるでしょう。そこに冷酷なテロリストのグループが学校を占拠。アメリカ大統領に無理難題の要求をつきつけます。要求が通らなければ毎日、校門に新しい死体が届けられると通告。囚われた先生と生徒達、テロのリーダー、レスキューチーム、選挙戦控えた大統領、苦悩する親達、と沢山のヒヤヒヤ、ドキドキがあります。その中にもクスクスありロマンスありのエキサイティングなストーリーです。

これから読む方達の楽しみの為にこ

の程度で止めておきましょう。著者は海軍の将校を経て出版社では経済記者宣伝広報の専門家、ハイテク製品のセールス・プロモーション会社の社長とマルチの活躍をする人ですが、この本は彼にとって三番目の作品です。

『ベバリーヒルズ・コップ』を手掛けたダニエル・ペトリ・ジュニアの脚品・監督によって映画化されたそうですが、いつかビデオを入手できれば是非見たいなと楽しみにしています。どなたか持っておいででしょうか？本の中で作り上げた自分流のイメージと重ね併せながら映画を観るのも又、格別の面白さです。



ふと読み返す本

茂木 昌

ふと読み返すという本というものがあつた。そのたびに新しい発見があつたり、あるいは、平凡な日常の中でマンネリズムに墮した頭をリフレッシュしてくれる、そんな本である。

本多勝一『殺す側の論理』『殺される側の論理』。題名が暗示する通り、過激な本である。太平洋戦争時の日本軍による中国侵略や、ベトナム戦争、人種差別問題などに関する同氏の意見が、ときには論争、ときには読者への挑発という形で、攻撃的な口調で語られる。

しかし、その激烈な言い方の根底にあるのは、弱者や被抑圧者への共感といたわりである。時事的なテーマが多いのにもかかわらず、内容が占ばけないのは、訴えている内容がいつの時代にも共通する普遍的な人間の考え方、生き方に迫つたものだからであらう。

同氏の思想をひとことで示すのが、「する側」「される側」というキーワードだ。抑圧する側、差別する側、搾取する側、そういった強者の論理、そしてそれは同時に世の中で支配的な論理でもあるのだが、それに対して、同氏は「される側」の論理を対置する。「される側」は弱者であり一般的に少数派である。訴える手段もなく、その声は社会の中であまりに小さい。その呻き声を代弁しようというのが著者全体を貫く姿勢なのだが、それだけではない。読者に「あなたはいつたいどちらの側に立つのだ」と迫ってくるのだ。こちらが曖昧な答でお茶を濁そうものなら、「第三者的、中立的な立場なんでものは、結局『する側』に加担しているだけではないか」と追撃されてしまふのである。

村上春樹のエッセー集『村上朝日堂』なども時々読み返す。こちらは、うって變わつて、非政治的で牧歌的、愉快な本である。

村上氏にはあきれるほどに実に多くの個人的信条がある。散髪するなら美容院ではなく床屋だとか、スジャータ社のトラックの右側面に「ターヤジス」と書いてあるのはおかしいとか。

悪くいえば神経質で偏屈、良くいえば自己の信条を大事にする人なのだが村上氏がエライのは、その一方で、自分の価値観からはみ出した人間に対して「かれにはかれなりの論理があるのだ。もしかしたら、そちらのほうが正しいのかもしれない。」と自己の反省の材料にしたりするところである。もっとも、それで信条が変わることはあまりなさそうだけれど。

こんな一文がある。書店でディケンズの本がどこにあるかを尋ねたが、応じた女店員はディケンズを知らなかった。という些細な出来事である。「本屋で働くならディケンズぐらい知っておけ」というのが同氏の価値観なのだが、こんなことを想像して、少し反省するのだ。

「書店の女の子はあるいは家に帰って食卓で『ねえお母さん、今日嫌な客が来てさ、わけのわかんない本の名前を言って、私がそれを知らないって言うて露骨にバカにすんのよ、アッタマきちゃうんだから』と言っているのかもしれない」

日々の生活の中で頭にきたり、理不尽だと憤慨したりしたときに、村上氏の本を開いてみる。すると、「相手の言い分にも一理あるかな」「それほどムカツク事でもないか」と穏やかな気持ちになったりすることもある。

白黒をはっきりさせずにはいられない社会派、正義派の本多勝一、白と黒の境界なんて午後四時半と四時三十五分の空の明るさの違いのようなもの、というノンポリ風の村上春樹。全く肌色の違う二人を挙げたが、あえて共通点をいうなら、物事を多面的に見ることの大事さと楽しさを教えてくれる本ということになるだろうか。

さらにいうと、自分にとって本質的で譲れない問題については、本多氏の

ように過激に攻撃的に、それ以外の問題については、「まあ人それぞれだから」と村上氏のように、というのが、二人の本をふと読み返したときの個人的教訓なのである。



スポーツ

伊達公子を送る

厳しいツアーの転戦

盛田 常夫

日本のテニスファンを楽しませてくれた伊達が引退する。まだ2、3年はトッププレーヤーとして活躍できるだけに惜しまれる引退であるが、ゴルフのように30、40を過ぎても第一線に留まれる世界ではないだけに、新しい人生設計を描くことに誰も反対できないだろう。

ボルグにしてもマッケンローにしても、早々とテニスの一戦を退いたし、エドバークも今年限りでツアーから降りる。夫人同伴でツアーに参加できる男子にとっても厳しいツアー転戦は、女子にとってもっときついはずだ。40近くまでプレーを続けたナブラチロア

はまれなケースで、レスビアンと騒がれたのも無理はない。ゴルフでも岡本綾子が日本に戻り、低迷しているのを見るにつけ、引き際の大切さを痛感する。今から14年ほど前に世界にデビューし、世界ランク10位以内に入ったことのあるハンガリーのテメシュヴァリは、結局、腰の治療を担当した医師を夫に選び、コーチ役だった父親と縁を切ったが、それ以来、ランキングは下がる一方で、30をすぎた今もなお、100位前後の位置から小さな大会を転戦している。

テニスのランキングは過去1年間に稼いだATPポイント（プロテニス協会公認のトーナメントの参加ポイント、女子はWTA）によって決まる。過去に稼いだポイントは日々失われ、次々に新しいポイントを稼がなければ、ランキングは落ちて行く仕組みだ。稼げるポイントは大会の規模（賞金総額）によって差別化されており、それだけのトーナメントのなかでも本戦参加

1回戦突破、2回戦突破と勝ちあがるにしたがって大きなポイントが稼げ、ランキング100位以内の選手を倒したボーンラスポイント、10位以内の選手を倒したボーンラスポイントなど細かく規定されている。上位選手は主要な大会への参加が義務付けられているが、後は自分の裁量で参加するトーナメントを決める。

男子の場合はポイントの総計を計算するが、女子の場合は平均ポイント（獲得ポイントに参加トーナメント数で割ったもの）で計算する。これは女子の体力を考慮した配慮である。伊達はこの規定を最大限に利用して参加トーナメント数を限定し、ポイントの大きいトーナメント中心にツアーの日程を組んでいた。だから、ユーロスポートでの伊達の姿を見るのは、大きな大会に限られていたわけだ。しかし、この規定は来年より廃止され男子と同じ規定になる。ツアーの参加数を増やさない限り、ランキングを維持できない。

トーナメント本戦に参加出来る選手の数には限られている。どの大会も、主催者のワイルドカードと予選勝ち上がり枠があるから、ポイントを持たない選手は、自費で小さな大会の予選から参加し、細かくポイントを稼がないと中規模の大会の予選にすら出場できない。もちろん、予選の勝敗はポイントに関係ない。9月の日本選手権を制した鈴木貴男選手などは、ブダペストの大会にも参加し、細かくポイントを稼いでいる。雉子牟田選手などもブダペストの賞金総額数百万円規模の大会に参加している。

変則テニスの強み

伊達が世界に躍り出たのは、1991年8月のヴァージニア・スリム（ロサンジェルス）大会。伊達は予選勝ち上がりで本戦に入り、次々とランキング上位者を倒し、決勝まで進んだ。

このトーナメントはユーロスポーツで放映されており、偶然にチャンネルを

ひねった時は目を疑ったものだ。「セレシュと決勝を戦っている東洋の選手」は伊達だった。以前、日本の民放で伊達と沢松のライバル物語が放映されたことがあり、伊達の名前は知っていたが、まさかその彼女がランキング1位のセレシュを相手に互角に打ちあっているとは。女子の力は男子に比べても、世界のレベルに届かないという印象をもっていただけに、大きな驚きと興奮でプレーを見たのを感じている。

どのテニス選手にも特徴はあるが、伊達のプレーを見たことのある人は、どこか変則性のあるテニスだと気付かれたに違いない。新聞では「ライジングボールを叩く天才」という評価が下されているが、実はそれよりもっと重要な特徴がある。それは彼女が左利きにもかかわらず、右利きでプレーしているところにある。

彼女の両手打ちのバックハンドは彼女にはフォアハンドになる。だから、伊達のバックストロークは他の選手よ

りも強くかつコントロールが良い。とくにバックのクロスは天下一品。逆にフォアハンドは彼女にとって、バックハンドにあたる。このフォアハンドは非常に変則的で、ボールを打つ瞬間には常に肘が伸びており、ラケットと一直線になるのが伊達の特徴である。こうした打法は普通は欠点になる。男子で同じ方法をとるグスタフソンが、上位へ上がれないのはこの打法による。

フォアハンドのストロークで、肘を伸ばして打つ癖をつけると、体に近いボールに対して調整が効かない。グスタフソンの欠点はこれに尽きる。もっとも利点がないわけではなく、腕とラケットが一直線になることで、ヘッドの回転スピードがきわめて速くなり、ボールのスピードが増す。形は悪いがボールは速いわけである。ただし、コントロールに難が出てくる。実際、グスタフソンのフォアハンドは素人が振っているような感覚を覚えるのはこのためであるが、コントロールの難が上

位への進出を阻む最大の問題である。

伊達とグスタフソンの違いは、伊達の手が短い点である。したがって、体に近いボールに対して、それほど苦にならずに反応でき、かつボールのスピードが増す。つまり、打法の欠点を消して、利点を使えることが、伊達の強みなのである。非力な伊達のフォアのクロス速さが天下一品である理由はここにある。

見習いたい勝負強さ

今は女子でも、男まさりの体をもっている選手が多くなった。ダーベンポートなどは、西武の清原と同じ体格がある。きゃしゃな伊達がダーベンポートと互角に闘えるのも、彼女の変則性が体格以上の力を出しているからに他ならない。シュルツ・マーカシーなどは190センチ以上の身長から、160キロ以上のサーブを打つし、グラフなどの体力は男子顔負けである。

伊達にもう少しの体力があり、サー

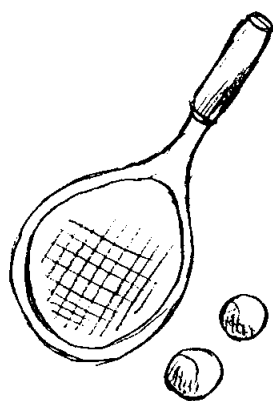
ビスに威力があれば、トップ3の位置を常に維持できただろう。もう少し、グラフと互角の勝負を続けることができただろう。あの身体で良く闘ったと思う。

伊達の引退を喜ぶ選手がいる。その筆頭は、コンチタ・マルチネス。コンチタは伊達に1勝5敗。1994年のオーストラリア・オープンの前哨戦で負け、本戦でも負け、10日間に2度も負けたというので話題になった。いわば伊達は天敵。それからサバチーニ。ヴァージニア・スリムで最初に負け、1994年のWTAの最終戦（ニューヨークで行われるベスト16の選手によるトーナメント）で、マッチポイントを何度も握りながら、セットを落とし逆転されて以降、伊達には勝てなくなった。

反対に、伊達が苦手になっていた選手は、グラフを除くと、サンチェスと南アのコエッアー。同じストロークを身上とするタイプは苦手になっていた。し

かし、今年に入り、伊達はネットプレーを習得し、全米オープン直前の東芝クラシックスではストロークとネットプレーを織り混ぜ、久し振りにサンチェスに圧勝している。また、コエッアーには、9月のニチレイトーナメントで完勝し、セレスシュとも競い合ったことは記憶に新しい。

その直後の引退表明だけに惜しいが後は杉山初め、若い選手の活躍を楽しみにすることだろう。彼女の栄光と勝負強さは今後も語り継がれていくだろうが、尾崎将司などには、伊達の爪のあかでも煎じて飲んでもらいたい、と思うのは私だけではなからう。



スイミング上達のポイント(その2)

ハンガリーは水泳王国

昔からハンガリーは水泳で有名。アトラクタ・オリンピックでは、背泳ぎ(200m)でエゲルセギが同種目3連覇の快挙を成し遂げた。同種目3連覇は、女子では豪州のフレーザー(100m自由形)に続いて史上2人目。22才の若さだし、2位に2秒以上もの差を付けての圧勝だから4連覇も可能だが、伊達と同じで、「水泳だけが人生ではない」と引退を表明。

ハンガリーの水泳が強い訳は、豊富な温泉を利用した温水プールにある。夏場はいろいろな場所にプールが開設されるが、冬のプールは限られる。外人が利用するのはホテルのプール。ヘリア・ホテルやアクインクムホテルのプールは設備も良いので、気持ち良く泳げる。ヘリアのプールは18m、アクインクムは15mの長さ。この距離を念頭におきながら、泳ぐとよい。ただし

ヘリアは年間バスを持つお客が多く時間帯を選ばないと常に混雑している。

他方、アクインクムはバスがなく、1回ごとに高額の入場料を払うので、プールのお客は多くない。

泳ぎ始めるコツ

ジョギングと同じで、泳ぎも少しずつ泳ぐ距離を延ばす努力が必要です。体を鍛える目的ならば、最低10分以上、脈拍が通常の心拍数の倍の状態を続ける運動が必要です。そのようにならない運動はあまり効果がありません。

また、泳ぎはゆったりと大きなフォームを心掛けることが重要です。プールの片道を泳ぐのに、何回のストロークが必要かを勘定します。15mのプールの場合、平泳ぎでは11〜12ストローク以内で泳ぐように、1回のフォームを大きくするように心掛けます。慣れれば、10ストロークで泳げるようになります。ちなみに、私は6ストロークで泳ぎます。

クロールの場合も同じで、15mプー

ルの場合には、片手1ストロークで、15〜16ストロークが目安です。水泳の選手の場合には8ストローク(片手4ストローク)で泳ぎますが、12ストロークまで上達できれば、OKです。このように、大きなフォームで1ストロークずつ大切に泳ぐのがコツで、速く泳ぐとやたらに腕を掻いても前に進みません。大きなフォームを固めてから、スピードに挑戦することが大切で、形が出来ない状態でスピードを付けようとすると、形が崩れ、バラバラになってしまいます。傍目にも醜い泳ぎになる原因です。

大きなフォームで泳ぐためには、正しい腕の掻き方、足の使い方、腕と足のバランスを意識的に練習する必要があります。そうして初めて、リズムのある大きな泳ぎが完成します。

クロールのポイント

クロールではとくに腕の動きが重要です。大きく、なるべく前方に、思い切り腕を伸ばす動作がポイントになり

ます。この時、掌を外側に見せ、水に垂直した状態から、親指と人差し指から入水させます。

次に、水に入った腕を思い切り前方に滑らせます。この滑りの動作がないと、スムーズな泳ぎにはなりません。

それは平泳ぎの場合と同じです。

滑らせた後、水を掻きますが、掌を水面に垂直に維持したまま、まず横に掻き、次にその腕を腹の下まで持ってきて、腰の外にはじき、次のストロークの動作に入ります。

多くの人は水の中で体を滑らせることができないので、ぎこちない動作になります。また、横に水を掻くのは、止まった状態の水を掻くという原理にもとづいています。止まった水をつかむことで、スピードを付けることができるわけです。

現在のクロール理論は簡単に見ると上のような原理にもとづいています。これはくり返し練習する以外に方法はありません。

背泳ぎのポイント

背泳ぎは腕の使い方も、足の使い方も難しい泳ぎです。原理はクロールと同じで、腕は大きく後方に振り上げ、今度は小指から掌を入れる動作になります。しっかりと後方へ腕を振らないと、美しくはなりません。小指から入水させるためには腕をひねらないとうまく行きます。入水した後は、やはり滑らせてから、腕は横に掻きます。この時、脇を絞めて、肘を軸にして腕を掻きます。終りは掌を被せる（手の甲が上になる）ように腰に付け、次のストローク動作に入ります。最も、背泳ぎの場合はクロールに比べて、滑らせる動作は短くなります。

次に、バタ足ですが、もっとも一般的に見られる間違いは、足首を固くしたまま、足先が立っている状態です。これは見た目にも、良くありません。足首は伸ばしますが、柔らかくしておく必要があります。というのは、足の裏と表の両方で水を蹴るのがポイントだからです。これはたいへん難しい動

作で、かなりの練習を必要とします。また、もう一つの典型的な間違いは、膝が水面に出る動作です。あたかも自転車漕ぎのように、膝が水面に出るバタ足はいただけません。その場合は大方、足首も立っています。自転車漕ぎにならないように、くり返しバタ足を練習することがポイントです。

それから、背泳ぎを奇麗に見せるポイントがあります。それはストロークに入った手を水で滑らせる時に、アクセントをつけることです。入水する時に、入水する手とは反対の足にキックを入れて、体が対角上で伸びるようにすることで、ローリングが防げ、かつリズムが出ます。これを逆に、入水する手と同じ足で同時にキックすると、体がストロークする手の側に傾き、ローリングが起きます。

以上の説明のうち、原理的な部分はハンガリーの水泳テキストにもとづく現代的な泳法の解説ですが、それ以外には個人的な経験からのアドヴァイスです。

掲 示 板

ガラ・コンサートのお知らせ

来る10月26日、午後8時より、ブダペスト・クラブ主催のガラ・コンサートが開催されます。ブダペスト・クラブから各界で活躍する人々に各種の賞が授与され、アメリカの俳優ピーター・ウスチノフが参加することになっています。是非、皆様お誘い合わせの上、お越しく下さい。

指揮…小林研一郎

演奏…ハンガリー国立交響楽団

プログラム

1 コダーイ「ガランタイ舞曲」

授賞式

2 ドボルザーク

「交響曲第9番…新世界」

なお、チケットは各プレイガイドで発売中。入手困難な場合は、編集室までご連絡ください。

日本人会文化行事のお知らせ

本年の日本人会文化行事として、大使館との共催により、リスト音楽院留学生並びにハンガリー人のオーケストラ・音楽家を交えたコンサートを左記のとおり開催いたします。振るってご参加の程よろしくお願いいたします。
(詳細な案内については追って送付いたします)

「日本・ハンガリー友好コンサート

(コンチェルトの夕べ)」

日時…11月13日(水)午後7時半開演

場所…セント・イシュトバーン・ギム

ナジウム大ホール

(XIV 区 Columbus u.11)

奏者…ハンガリー・シンフォニック・

オーケストラ

指揮/メドヴェツキー・アダム

ピアノ/日南・持田・平野

ソコライ・バラージュ

(リスト音楽院講師)

ソプラノ/富永

“琴”売ります

都合により現在所有の琴を売ります。ご希望の方は左記までご連絡ください。

ケウエイ市川(☎22116476)



編集室

皆様の声、情報をお待ちしています。

TEL/FAX…26614967

(野村総合研究所)